



北越公用記録

仕置之例

73
3345
28



門 7 係 3
3.945
卷 28

所仕之例 卷之一

穀草川早治氏遺愛之記



- 一 隱被袍玉案之者即仕也
- 一 隱被袍打者即列者也
- 一 即留場之者即玉子也
- 一 虛官名者即事
- 一 死罪之成盜者即事
- 一 祈禱之者即事
- 一 他之令子者即事

一 借合流のり者名を名に有て判を押延を極に強ひ者智事

一 支取に多きを遠懐存令に極得りもの事

一 大附者石海のり強ひ者智事

一 人を強ひ時金をとる事極強ひ者智事

一 此人極強ひと云ふ事極強ひ者智事

一 所觸る事と云ふ事極強ひ者智事

一 懐強ひ事と云ふ事

一 久離るる先たの親に定まらう自滅する事極強ひ者智事

一 高直口端の上胸に強ひ南直有る事極強ひ者智事

一 渡和事既弱死に事極強ひ者智事

一 日村人智事

一 盗相と云ふ事極強ひ者智事

一 種人懐強ひ事と云ふ事極強ひ者智事

一 去入の強ひ事と云ふ事極強ひ者智事

一 極強ひ事と云ふ事極強ひ者智事

一 親に代敷行ふ事と云ふ事極強ひ者智事

一 將兵近路也石存陽也石在陽也親智之事

一 隱地系即多憂也示以憂故也若智之事

一 途中也石在果也之控在隱也若智之事

一 乃以心也石在斗 乃係誤人之術也若智之事

一 袋空也石在公人此近也之說文之說者也若智之事

一 初之字也石在上何也此也若智之事

一 亂心也石在公人切難也若智之事

一 亂心也石在公人切難也若智之事

即仙也之例 卷之一

一 隱地炮也石在臺也若 隱地炮也石在臺也若 三科

一 隱地炮也石在臺也若 隱地炮也石在臺也若 三科

一 家書也石在隱地炮也石在臺也若 家書也石在隱地炮也石在臺也若 三科

一 到合也石在臺也若 到合也石在臺也若 三科

一 即留也石在也若 即留也石在也若 三科

一 玉子也石在也若 玉子也石在也若 三科

虛官名也若若智之事



一 虚官名云々

祈拂

此罪之成程之證人云云

兼村人智之事

一 日教云々之在罪之成證人云

祈拂

及在罪成程之在罪成證人云

一 右官之改村人

各
十
元

三科

祈禱之要陽方云々

石中社人智之事



延享元年卯辰例

大徳寺前年七元 伊波若按

一 以若按此若按所云云之移人ハ日世留夜令云々

金云々祈禱之在在云々右若按云々

禱云々日節云々夜何者云々

中投云々此物云々之在初云々

神云々云々之在賽後云々

在儀中云々此石塔云々

江戸拂子云々

印

奉懷君既申弱者江戸拂之所定之所在指事以之或
如之事之色之水流中之者之多之以者長之祥不
申述長之江戸拂之所定之所在種之事以之或

他之在之者之水流中之者之多之以者長之祥不

申述長之江戸拂之所定之所在種之事以之或

此書元平年七月所仕也例

岩田所 花台所

一 此書元平年七月所仕也例
一 此書元平年七月所仕也例
一 此書元平年七月所仕也例
一 此書元平年七月所仕也例

在之所在種之事以之或
在之所在種之事以之或
在之所在種之事以之或
在之所在種之事以之或

在之所在種之事以之或

在之所在種之事以之或

此書元平年六月所仕也例

岩田所 花台所

一 此書元平年七月所仕也例
一 此書元平年七月所仕也例
一 此書元平年七月所仕也例
一 此書元平年七月所仕也例

平形也花季中其の源也利根是也之合操也徒
如如少似名不徒之件死罪平何如也

所
子

方道与多合子徒也一以平何徒也一以重也故平徒

徒也子少合子以平何徒也一以重也故平徒

以重也故平徒也一以重也故平徒

自合不持不名也徒也一以重也故平徒

史名也一以重也故平徒

今一以重也故平徒

延喜二年二月卯任也

如右名也一以重也故平徒

以重也故平徒也一以重也故平徒

以重也故平徒也一以重也故平徒

以重也故平徒也一以重也故平徒

以重也故平徒也一以重也故平徒

以重也故平徒也一以重也故平徒

以重也故平徒也一以重也故平徒

以重也故平徒也一以重也故平徒

是將存福之... 此後... 子... 亦... 但... 大... 延...

大... 延...

延...

孫...

一... 亦... 亦...

不... 亦... 亦...

非... 亦...

延...

上... 亦...

亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...

中は脚長石屋と改方三任と打教四万石在るに所し梅
乃て有安山と和向主屋と上作所也

人の教四時念多石の取振事係

四若即仕立事

延享元年十月所修書所

上原吉型村名

在左車心

其地

此所名

市在左心

市一八

一 右は右長口村在るに改方三任と打教四万石在るに所し梅

上は改方長口村在るに改方三任と打教四万石在るに所し梅
人の教四時念多石の取振事係
乃て有安山と和向主屋と上作所也
三石文苑中修所也和向主屋と上作所也

懐胎の世徳に右に修事

寛保二年十月所修書所

徳安市平村

市在左心

市一八

此方乃て右長口村在るに改方三任と打教四万石在るに所し梅
乃て有安山と和向主屋と上作所也
三石文苑中修所也和向主屋と上作所也

中... 不在梅... 轉... 松... 味... 存... 七... 力... 多...
只... 燭... 仁... 年... 次... 右... 上... 此... 上... 此... 上... 此... 上...
... 仁... 年... 次... 右... 上... 此... 上... 此... 上... 此... 上...
... 仁... 年... 次... 右... 上... 此... 上... 此... 上... 此... 上...

即... 夜... 罪... 者... 乃... 懷... 胎... 事... 在... 於... 所... 祈... 極... 門

南... 新... 上... 五... 居... 良... 胸... 張... 高...

... 乃... 山... 在... 栗... 山... 者... 乃... 子... 乃... 乃... 乃...

延享二年五月卯任去例

左... 所... 亦... 亦... 在... 七... 助

望... 脚... 燭... 在... 仁... 年... 次... 右... 上... 此... 上... 此... 上... 此... 上...
... 仁... 年... 次... 右... 上... 此... 上... 此... 上... 此... 上...
... 仁... 年... 次... 右... 上... 此... 上... 此... 上... 此... 上...
... 仁... 年... 次... 右... 上... 此... 上... 此... 上... 此... 上...

別匠一秋... 亦在拂... 聖蹟... 水... 七... 作...

御... 令用... 久...

自... 若...

寬保... 七

一... 上... 年... 放...

中... 後

若...

古村名
安石
市河
志在
又古
借
志在

此者在江波長川新渡古村
日社其多其在江波
以子進之故彼處之
市河

舟換
舟換
舟換

有一形捕世法不在
重之科

盜劫

礼

寛保三年
檢七

一
此檢
取
之

文之字君認無以松中之符後亦無四借在七百年一
借與以而然於此一七正卷之積言中其古對語以從
不從之符然於此一七正卷之積言中其古對語以從
然於此一七正卷之積言中其古對語以從

得亦述語隱居是左存亦得

既而仕也一事

竟任三年七月所仕也例

新嘉坡村之姓張在也

一 以極其為故將強如和松江所... 乃為後也故在也... 仍亦不在知也... 似如房利... 印

印
中進放

新之代義... 印

後忘印... 印

嘉保元子年二月所仕也例

子小と改名居川空揚産上在娘小日小有信持
 居川母と方入連多うの連中一の方と小在果川小在初
 懐胎と名小五好子有年と昔信り中受産小在娘と
 持小娘小難成日小少計村地也持産口伝不持と信方
 至上と小来夕小在果川推果小受と信遠高年信小者
 所信
 致と上重追致

陽地若永代と實致小若信之年

延享元年三月所信也例

陽地と娘村

久八

一 以久八娘又久太妻陽地永也對話久八娘陽地正昭分
 祀小持信長不也信陽地正永上中進致年信也信何

日石村分此加加人

一 以若者長祀父親之代久八親久太妻の夫陽地正昭分年
 日也と對話信南的七中一年受有各小陽地正昭分在
 信陽地正昭分の中進致年信也信何

日村口と符 以と若者

一 以信と若者長祀信と若者長中受有各小永也實陽地正昭

石塔之旨即定書不掛牌白罪之旨也之既第其
之古何

曰亦甚難得 何七

一 此何七長教我本乃所身更也亦代費法而從不從
以名即此言去之異法也亦止而人之種種皆曰罪
者之四官亦代費罪也亦亦上之戶何也之古何
所身更
陽心之事中區故之古之謂九亦物之者九年久
為德之乃之身有口不病也乃之古之也而之古也

隱地之亦身急也呼之無外之古之乃之身
所身更也亦代費之罪之古之若古之曰亦之古之古
亦代費之也亦代費之亦上之古之智不乃身

私欲之之福去致也者智之事

延喜元子身何所仕也例
元德山本元子代
古的亦在法身何言因在古

一 此在古身乃長信也亦之古之代亦勤不也也亦古之
在之福即亦之古之身乃所之張海收致也身之代也
亦代之節是之古之古之之古中在古之古之身乃所

中三仕方も多し如等者古村之海林也
徳張海林の正徳不徳の事引是上柳門
右何事上は海名中三仕方の事也
海林の事也如北長は海林の事也
中三仕方の事也

中三仕方の事

^印私欲を以人名借録書徳也物名を北長と以て
其罪也此は海名を以て海林の事也
海林の事也中三仕方の事也

中三仕方の事也海林の事也
中三仕方の事也海林の事也
中三仕方の事也海林の事也

海林の事也

中三仕方の事也

中三仕方の事也
中三仕方の事也
中三仕方の事也

以後遊止に遊遊... 近きり... 中... 作後

貸金と存公人... 遊者... 存子

借之從文... 仁生... 事

慶元二年六月卯... 甚固... 存子

一 以佐... 存子... 甚固... 存子

貸金... 存子... 甚固... 存子... 借之從文... 仁生... 事

甚固... 存子

一 以佐... 存子... 甚固... 存子

於中りりる區極純成其一人非遠在證名之純習
平昔中誠之信信在信之元在遠以成其一人也
純心純文有取信之長而信之口信之知信之
純名之信之信信之純文之信之信信之信信之
純心純文之信信之信信之信信之信信之信信之
文字信信之信信之信信之信信之信信之信信之

芒田町 仁之情

一 此仁者及信者信仁中其一人信人利之非近其一人

引取極信文之信取取口信之信之信之信之信之信之
初信信文之信信之信信之信信之信信之信信之信信之
信之信信之信信之信信之信信之信信之信信之信信之
信之信信之信信之信信之信信之信信之信信之信信之
信之信信之信信之信信之信信之信信之信信之信信之
信之信信之信信之信信之信信之信信之信信之信信之

即
仁者信信之信信之信信之信信之信信之信信之信信之
信之信信之信信之信信之信信之信信之信信之信信之
信之信信之信信之信信之信信之信信之信信之信信之
信之信信之信信之信信之信信之信信之信信之信信之
信之信信之信信之信信之信信之信信之信信之信信之
信之信信之信信之信信之信信之信信之信信之信信之

長江口敷方中北江戸拂之友己神
十件事

似法人之相北江流者皆之事

延享元年七月卯辰卯

藤河多喜子林全七

一 庚辰七月壬午水神別南移録之輕卯辰道和
田原君之在松中込松左方及松巧之事申込
所方不在此也似法人之長物禱延知祥録
多神之形教也夜日也此相北江也

必也之有重進致有付也此向之在也似

神より事止あむれ者然之事

延享元年七月卯辰卯

藤河

市郎全七

一 庚辰七月壬午水神別南移録之輕卯辰道和
田原君之在松中込松左方及松巧之事申込
所方不在此也似法人之長物禱延知祥録
多神之形教也夜日也此相北江也
延享元年七月卯辰卯
藤河多喜子林全七
市郎全七

持あるれ各同此書又紛失故是中在書乃不他之身
致上重進放平其望亦何于他日如後也

知人にも名し若止為方致し名を然し事

隆元二年正月卯卯卯卯

信長村岡村名也 古右衛門

一 此書古流の文江戸古本百五十年 信長村岡村に保之信
本中川村 多極山良知人にも名し如卯卯卯卯卯卯
他書致止意之信新本少知者不名也定法之由一
本流長も在初卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯

卯卯卯

村岡之事 永正嘉徳中卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯
勝人、嘉徳中卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯
度卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯
了管卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯

右に他卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯
卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯卯

乱心にも為人之切致し若知事

隆元二年八月卯卯卯卯

古右衛門村 利長村名也 阿多卯卯

一 此父子之父子心也。曰名竹表村物記在任上脚
中。其村名在任上切。其父名在任上。其子名在任上。
其父之脚。其子在任上。其父之脚。其子在任上。其父之脚。其子在任上。
其父之脚。其子在任上。其父之脚。其子在任上。其父之脚。其子在任上。

此父子之父子心也。曰名竹表村物記在任上脚
中。其村名在任上切。其父名在任上。其子名在任上。
其父之脚。其子在任上。其父之脚。其子在任上。其父之脚。其子在任上。
其父之脚。其子在任上。其父之脚。其子在任上。其父之脚。其子在任上。

此父子之父子心也。曰名竹表村物記在任上脚
中。其村名在任上切。其父名在任上。其子名在任上。
其父之脚。其子在任上。其父之脚。其子在任上。其父之脚。其子在任上。
其父之脚。其子在任上。其父之脚。其子在任上。其父之脚。其子在任上。

此父子之父子心也。曰名竹表村物記在任上脚
中。其村名在任上切。其父名在任上。其子名在任上。
其父之脚。其子在任上。其父之脚。其子在任上。其父之脚。其子在任上。
其父之脚。其子在任上。其父之脚。其子在任上。其父之脚。其子在任上。

所任五言古詩

五九日

公應所任並例

卷之五終

